

# 広木の屋台囃子



7月25日(日)、夏の日差しが照りつける中、広木会館周辺において屋台囃子が演じられました。  
この屋台囃子は、大太鼓1つ、小太鼓3つ、鉦2つによって奏でられ、牡丹に唐獅子の彫刻を飾った屋台の上で、広木の若者が中心となり、五穀豊穡を祈願しながら囃します。  
例年は、大勢の参加者により山車が曳き回されて広木の街中をねり歩きますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小しての開催となりました。



今年、感染症対策の徹底を行い、開催させていただきました。

ご理解・ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

子どもたちには、この伝統行事とおして、地域や仲間の大切さを学んでもらい、大人になったら、継承していくようになってもらいたいです。

来年は、曳き回しができることを切に願っております。その時は、広木地区内外を問わず、足を運んでみてください。ぜひ、お待ちしております。

広木屋台囃子保存会  
会長 林 正貴



※以前撮影された曳き回しの様子



本番に向けて毎日練習をいっぱい頑張りました！

約2週間前から毎日練習に励みました。夏の夕暮れに笛や太鼓の音が響き渡り、幻想的な光景を見ることができました。

